

行政事業レビューシート (環境省)

事業名	地方環境事務所における環境影響評価審査体制強化費		担当部局庁	総合環境政策局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成20年度		担当課室	環境影響審査室		室長 小野 洋	
会計区分	一般会計		施策名	環境政策の基盤整備			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	環境影響評価法 第23条		関係する計画、通知等	—			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	環境影響審査を行う際に、 ・計画段階での配慮事項についてのガイドラインに基づき、審査・協議を行うことで、計画段階において環境保全について適切な配慮がなされること。 ・地域特性を踏まえた効果的な環境保全措置が確実に実施されること。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	地方環境事務所における環境影響評価関連業務の補佐役(アセス・サポーター)として、環境影響評価に係る業務に携わったことのある地方公務員経験者や民間調査会社経験者等、地域の環境情報に詳しい者を雇用し、SEA実施に当たり必要となる対象計画策定者等の検討状況等の情報の収集・整理を行う。また、地方環境事務所を通じて環境影響評価手続終了後のフォローアップを進めているが、そのための事後調査報告書等の収集や現地調査等の補助を行う。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input checked="" type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算の状況	当初予算	11	11	8	18	
		補正予算	0	0	0	0	
		繰越し等	0	0	0	0	
		計	11	11	8	18	
	執行額	7	6	8			
執行率(%)	63.6%	54.5%	100.0%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	地方事務所における環境アセスメントの質の向上	成果実績					
		達成度	%				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	地方事務所における戦略的環境アセスメント及び重要案件フォローアップの実施数	活動実績 (当初見込み)	件	24	25	25	133
						( 25 )	133
単位当たりコスト	304,000(円/件)		算出根拠	執行額/アウトプット件数 =7,600,000円/25件=304,000円			
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	委員等旅費	0					
	環境保全調査費	18					
	計	18					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	環境影響評価の際に提出する環境大臣意見は、環境省としての地方事務所の行う調査に基づいており、民間に委ねられるものではない。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	2名のアセスサポーターは公募によって選出されており、支出先の競争性は確保されている。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	活動実績は、戦略的環境影響評価に対する環境省意見として提出している。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	環境省から地方環境事務所に費用を配賦し、各地域において環境アセスメントに知見を有する者を地方環境事務所において雇用しており、地域に密着した戦略的環境アセスメントに対する環境省意見の提出、重要案件の継続的フォローアップ等の成果を挙げている。		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	過去の実績等を分析し、事業内容を見直すことで、予算額を節減すべき。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入

環境省  
8百万円

〔事業全体の企画立案・検討、統括管〕

九州地方環境事務所  
8百万円

〔アセスサポーターを雇用〕

【公募】

A. 個人  
4百万円

〔環境アセスメント業務補助〕

【公募】

B. 個人  
4百万円

〔環境アセスメント業務補助〕

資金の流れ  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」  
 においてブロック  
 ごとに最大の  
 金額が支出され  
 ている者につい  
 て記載する。費  
 目と使途の双方  
 で実情が分かる  
 ように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人A	環境アセスメント業務補助	4	随意契約	—
2	個人B	環境アセスメント業務補助	4	推移契約	—